

## ポイント7 本の楽しさを教えましょう

### 絵本や漫画もキッカケに

幼いうちから童話やおとぎ話をよく聞かせ、次にそういう書物を読み聞かせることが大切です。そうすれば、書

物というものは面白いものだ、ということは自然と解るはずで

す。その他、絵本や漫画などから入るのも一つの方法です。ただ絵本や漫画ばかり読んでいますと、親の方がいらいらしてきて、「そんなものは止めて、ちゃんとした本を読みなさい」と言いたくなるものです。これが問題です。

絵本や漫画は、本の楽しさを子供に知らせるのにとっても役に立つものです。だから、こういうものを通じて本に十分に親しませる一方で、漢字を読む力を養っていけば、自然と高度な本を読むようになっていきます。

読書が苦手な子にとっては読書が苦痛なのです。

そういう子供が、絵本や漫画を読むのは立派なもので、「よく読んでいるね」と言って褒めるべきものです。それだけの価値がある行為

であり、事実、褒めますと、子供は「もっと高度な本を読んでみよう」という意欲が湧いてくるものだからです。

だから絵本や漫画でも楽しんで読んでいるのを心配する必要はないのです。それが高度な読書への踏み台になるのですから、読まないことのほうが本当は心配なのです。

### コラム

### 部首 貝

二枚貝を正面から見た形を象った象形字。物々交換の時代は、軽くて小さい貝は貨幣的な存在。また海から離れた昔の中国では、貝の装飾品は入手しがたい貴重品で宝石に匹敵する価値があった。

【賃】 “人としての努め(任)に対して支払われるお金”という意味で、任と貝との会意形声字。労働者が、その労働の報酬として受ける金銭を「賃金」というのは本義にかなっている。